

平成19年度 青少年健全育成事業

夢プラン21事業報告書



鳥栖市・夢プラン21実行委員会

は じ め に

鳥栖市では、次世代を担う子供たちが地域の支援を受けながら夢をかなえるプロセスを経験することによって、充実感、達成感を得るという形で、健やかな成長を支援すると共に、希薄化する世代間交流や地域交流につなげようと、平成17年度から青少年健全育成事業「夢プラン21」を実施しています。

3年目となる今年は、小・中・高生あわせて57件の応募がありました。今回は、夢実現にむけて子ども達の活動をサポートする実施団体として「てだすけ隊」を募集し、計画のプレゼンテーション審査を行った結果、4件の夢を今年度事業として行うこととしました。

この冊子は、今回の4つの事業についての活動報告をまとめたもので、青少年健全育成への取り組みや、世代間交流、地域間交流の活性化に向けて活動する方々の参考にしていただいて、「みんなで築く市民協働のまちづくり」へとつながっていく足掛かりになることを願います。

目 次

ページ

1. 青少年育成事業「夢プラン21」事業概要	3
2. 夢プラン21 実行委員会審査経過	4
3. 採用された4つの夢	4
4. 夢プラン21 てだすけ隊プレゼンテーション審査結果表.....	5
5. 夢プラン21 実施経過総括	6
6. 各事業内容報告	
「とっとちゃんの絵本シリーズ作り」	7
「いかだをつくって川を下ってみたい」	9
「巨大迷路をつくりたい」	11
「川に魚を放流して自然公園を増やしたい」	15
7. 夢プラン21 事業を終えて.....	18
8. 資料	
(ア) 夢プラン21「てだすけ隊」募集	
(イ) 夢プラン21 実行委員会概念図	
(ウ) 夢プラン21 実行委員会委員名簿	
9. 実績報告書(写真集)	

青少年健全育成事業『夢プラン21』19年度事業概要

■ 趣旨

次世代を担う子供たちが地域の人々の支援を受けながら子供たちの「夢」を実現するプロセスを通じて充実感や達成感を得ることによる、健やかな成長を支援するとともに、この事業により希薄化する世代間交流や地域交流の活性化につなげる。

特に、市民協働の視点から、実施団体を公募し、子供の夢実現のため、市民活動団体等が主体となって支援を行う。

■ 事業概要

子どもたち（小・中・高生）の実現したい夢を募集

夢プラン21実行委員会による審査

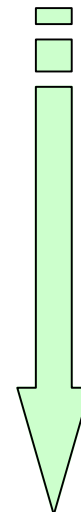
実施予定の夢プラン21の実施団体「てだすけ隊」募集

実施する夢及び実施団体「てだすけ隊」の決定

実施団体への事業補助金交付

・ 子供たちとの計画・準備・実現 ・ 事業実施

平成19年度夢プラン21の事業報告



主 催：鳥栖市
「夢プラン21実行委員会」→夢の審査及び実施団体決定
子ども夢実現隊+てだすけ隊→事業実施

期 間：平成19年度中
事業費：100万円（総額）



■ 夢の選考基準

期 間：原則年度内に実現できるもの
場 所：鳥栖市内で実現できるもの
経 費：100万円を限度に実現できるもの
上記以外の選考基準：

- ・ アドバイスを受けながら、子ども達が自主的に考えて実現できるもの
- ・ 子供たちが集団で参加できるもの
- ・ 独創的でこれまで実現できていないもの
- ・ 社会参加により社会の制度や常識を習得できるもの

■ 期待する効果；

- 子どもたちが自分達の夢を実現する過程における社会との関わりを深める充実感や達成感を得ることによる、子ども達の自主性、協調性の育成
- 市民活動団体の社会貢献活動参加の促進と市民活動団体等の育成支援
- 大人と子どもの世代間交流の実現、また、子どもと大人が協力し、夢を実現することによる市民協働によるまちづくりへの意識付け
- 地域や市民活動団体等の参加による地域活動の活性化と市民協働のまちづくりの実現

夢プラン 2 1 実行委員会審査経過

期日	会議等	概要
平成 19 年 4 月 24 日～ 5 月 14 日	“夢” の応募	小学生から 56 件、中学生から 1 件、 計 57 件の応募を受付ける。
5 月 21 日	第 1 回実行委員会	「手だすけ隊」について・年間スケジュール 実施候補 “夢” の選考 ・ 巨大迷路をつくりたい ・ 川に魚を放流して自然公園を増やしたい ・ とっとちゃんの絵本シリーズ作り ・ 鳥栖市駅伝大会を開きたい ・ いかだを作って川を下ってみたい
6 月 1 日～ 6 月 29 日	実施候補の “夢” 5 つについて 「てだすけ隊」の募集	
7 月 1 日	プレゼンテーション 第 2 回実行委員会	
7 月 10 日	「夢プラン 2 1」採用決定通知書交付式 (第 3 回実行委員会)	採用された 4 件の夢を応募した子ども達へ、 採用決定通知書を交付
平成 20 年 2 月 22 日	第 4 回実行委員会	

採用された 4 件の夢

夢 概 要	学 校	てだすけ隊
【巨大迷路をつくりたい】	麓小学校 6 年生	【麓てだすけ隊】 麓小学校 P T A、P T A O B、麓 小学校卒業生で構成する団体
【川に魚を放流して自然公園を増やしたい】	麓小学校 6 年生	【麓の夢かなえ隊】 麓小学校 P T A、P T A 経験者を 核として構成する団体
【とっとちゃんの絵本シリーズ作り】	旭小学校 5 年生	【たんぼぼお話し会+OG】 親子で工作や絵本作りをしたり、 読み聞かせをしている団体とその O G
【いかだを作って川を下ってみたい】	基里小学校 5, 3, 2 年生	【基里地区子どもの夢実現隊】 基里小学校 P T A、おやじの会、 民生委員、区長会等の有志で構成 する団体

夢プラン21でだすけ隊プレゼンテーション審査結果表

実施計画概要	てだすけ隊(応募団体)	5点×4項目・120点満点	得点	採用・不採用理由
【とととちゃんの絵本シリーズ作り】 実施概要: 3シリーズの中の1冊は市内の5年生にそれぞれの校区の鳥栖のいいところをアンケートをして教えてもらい、見学に行き、子ども達に絵や文章を考えてもらう。こんなイメージで作りたいというミニ本(簡単なもの)を作り、これを基にケント紙(絵本用の硬い紙)に描いて手作りする。このようにして製作した原本をカラーコピーし、手作り製本し、図書館や市内各学校に配布することになっている。	【たんぼぼお話し会+OG】 昭和53年鳥栖親子読書会として発足。数年後、たんぼぼお話し会と改め、今年で29年目を迎えます。読み聞かせのほかには工作やピクニック、餅つきなど季節の行事を親子で一緒に遊びながら学び、その一環として「手づくり絵本」の製作をしています。入会条件は、小学生までの親子の会員制です。	実現性 事業主旨理解度 協働の可能性 発展普及性	94	採用 不採用 ・市制50周年記念事業により鳥栖市のマスコットキャラクターとして採用されたとととちゃんへの愛着がうかがえる。 ・市内の同じ5年生に校区内の鳥栖市のいいところをアンケートを行うなど子どもの視点でとととちゃんを通してどういうストーリーにするのが楽しみ。 ・鳥栖市ならではの企画、絵本という形として残ることで、その後利用の仕方でも発展してほしいと期待する。 ・てだすけ隊の力量は明確、子ども達の自主性を上手に引き出し、子ども中心の夢実現にむけた支援をお願いしたい。
【いかだを作って川を下ってみたい】 実施概要: 昔の様子(水上運輸)についての話をする。設計図のないいかだの絵をもちより、どんな材料でどれぐらいの大きさのどんなイメージのいかだを作るか話し合う。決まったら、ミニチュアを作り、これを基に大きないかだを工夫して作り、9月上旬には基里地区の川で浮かべて、進水式、川下りを体験する。	【子どもの夢実現隊】 基里小学校PTA、おやじの会、民生委員会、区長会等の有志からなる団体です。日頃から、基里地区を中心に子ども達の安全を守る活動など地域の連携を図っています。当団体には、基里地区の歴史に詳しく、いかだづくりを経験したことがある先輩がいます。基里地区では昔、水上運輸が行われており、今回のいかだ作りを通して子ども達が基里地区の歴史を知り、先人たちの工夫を伝えることによって基里地域に愛着を	実現性 事業主旨理解度 協働の可能性 発展普及性	83	採用 不採用 ・基里地区の水上運輸の歴史を学ぶことによって、将来、郷土を愛する心を育むことができ、夢のある企画である。 ・当初北小学校の子どもからも同じ夢があがっていたが、最終的には基里小学校の子ども達とてだすけ隊で実現することとなった。 ・今後、子ども達といかだの設計や進水式を行う場所など十分検討し、基里地区のすばらしい夏の思い出としてほしい。
【巨大迷路をつくりたい】 実施概要: フラワー迷路づくり→7月～9月でひまわり等の種をまき、植物をたくさん育て、子ども達で迷路の設計を行い、鳥栖市の子ども達を招待して楽しませたい。迷路は麓小学校となりの福祉施設の農園を借用し作するため、6年1組の生徒と施設の方々と協力して花を育てる。	【麓てだすけ隊】 麓小学校のPTA、PTA OB、麓小学校卒業生からなる団体です。日頃より、麓地区を中心に子どもの安全、教育などよりよい麓小学校にするため努めています。また、地域においては、麓小学校向原川の虫観察を行い、環境保全にも努めています。	実現性 事業主旨理解度 協働の可能性 発展普及性	105	採用 不採用 ・植物を育てる事の大切さ、その作業を前向きに考え、自分たちの夢を達成することへの子ども達の熱意を感じた。 ・てだすけ隊も子どもの創造性を生かした実現のための計画がしっかりできている。 ・花の迷路ができれば、どんなに美しいか、小学校近所の福祉施設農園を巨大迷路の製作場所として、障害を持った方との交流、地域をあげての応援、体制が整っている。
【川に魚を放流して自然公園を増やしたい】 実施概要: 麓小学校6年生で取り組む。麓小学校のそばを流れる向原川の生態系調査を行い、河川清掃や稚魚の飼育、放流活動を通し、学校、PTA関係者と地域の方々などが協力し、子どもの夢である魚や虫のたくさん生息する環境づくりを実現したい。卒業式前に稚魚の放流をする。	【麓の夢かなえ隊】 本団体は麓小学校PTA、PTA経験者を核として構成する団体です。常日頃より稚魚の放流活動等を通し、環境保全の活動に取り組んでおられる地域の筑紫会(牛原町)やヤマメ会(立石町)の協力のもと、児童、学校、地域、保護者が一体となって、今回「麓の夢かなえ隊」として、子どもの夢実現に尽力したいと考えています。	実現性 事業主旨理解度 協働の可能性 発展普及性	105	採用 不採用 ・自然環境が壊されていく現在、美しい環境を守りたいという子どもの願いもみえてくる。 ・3月の卒業式まで継続的に取り組むことで、6年生全員のいい思い出となり、子ども達自身そして周りの人達へのいい発展へとつながっていく期待感が持てた。 ・「巨大迷路をつくりたい」にも協力するし、自分たちの夢実現への参加を卒業記念として学年全員に呼びかける心の優しさを感じた。

夢プラン 2 1 実施経過総括

事業名	事業概要	夢実現隊	事業実施内容
とっとちゃんの絵本シリーズ作り	子ども達が絵本作りのノウハウを持つ団体から指導を受けながら、鳥栖市のイメージキャラクターとっとちゃんについて、また、とっとちゃんが鳥栖市のいいところを冒険するお話の絵本を製作する。	旭小学校 5年生4人組	市内の5年生にアンケートで自分達の校区の自慢できるところを教えてもらい、とっとちゃんと見学に行き、取材をする。 取材をもとにストーリーや挿絵を考え原稿を作成。製本は、同級生や保護者に手伝ってもらい、夏休み中に完成。 完成した絵本は図書館や市内の小学校や保育園へ配った。また、イベントなどで読み聞かせを行った。
いかだを作って川を下ってみたい	基里地区は古くから水上交通の盛んな地域であり、いかだ作りを通して子どもたちが同地区の歴史や地理を学ぶとともに、先人たちの生活を伝承することで、郷土への愛着を深めることを目的とする。	基里小学校 5, 3, 2年生	自分たちで作ったいかだに乗って筑後川まで川下りをしてみたい、という基里小学校の子どもたちの夢を、PTAやおやじの会の方々を中心とした「基里地区子どもの夢実現隊」がサポートし、ペットボトルや発泡スチロールを利用したいかだ二艘を作製。たくさんの人たちに披露し、同地区内を流れる山下川へ浮かべ、川下りを行った。
巨大迷路をつくりたい	ひまわりの種をまき、育て、子ども達で迷路の設計を行い、鳥栖市の子ども達を招待して楽しませたい。	麓小学校6年生	麓小学校近くの社会福祉法人若楠（青葉園）所有農園を借用し、施設の方々の協力を得ながら、ひまわりの種をまき、育て、ひまわりの巨大迷路を完成させた。 完成披露時には、子ども達が考えた、タイムレース、クイズスタンプラリー、いも虫大会、スケッチ大会、俳句コンテストを実施し、来場された方々を大いに楽しませました。
川に魚を放流して自然公園を増やしたい ※途中事業名変更	河川の清掃、稚魚の飼育、放流活動を通し、魚や蛸がたくさん生息する環境づくりを実現する。	麓小学校6年生	麓小学校のそばを流れる向原川の水生生物調査を行い、筑紫会、やまめ会、市村自然塾の助言を受けながら、鳥栖市内に生息する魚を生態観察しながら飼育し、卒業式前に放流した。

夢プラン21「とっとちゃんの絵本シリーズ作り」事業結果概要

製作期間：平成19年7月12日（水）～夏休みいっぱい
 子ども夢実現隊：旭小学校5年生4人組
 てだすけ隊：たんぽぽお話し会+OG
 《協力・支援団体等》財)鳥栖市地域振興財団・佐賀県競馬組合・鳥栖山笠奉賛会・
 麓小学校・基里小学校・市内各小学校5年生・鳥栖市

1. 製作工程

作業日程・場所等	作業内容
7月12日（水）	市内の小学5年生に各校区の自慢できる所のアンケート配布
7月13日（金） 市民活動センター	絵本作りの説明、表紙、中表紙の色決め、製本及びカバーかけの作業応援者募集のチラシ作成
7月17日（火） 旭小学校	8/22、23 製本及び8/29 カバーかけの作業応援者募集
7月20日（金）	各学校からアンケート回収
7月23日（月） 旭小学校図工室	見学場所決め、ストーリー決め
7月24日（火） 旭小学校図工室	絵本の内容、製作
7月30日（月） 佐賀競馬場・麓小学校・四阿屋・河内ダム・基里小学校	とっとちゃんと一緒に各校区自慢の場所見学、撮影
8月1日（水） サンメッセ・いこいの木・八坂神社	とっとちゃんと一緒に各校区自慢の場所見学、撮影
8月2日（木） 旭小学校図工室	絵本原稿製作 絵本を自費出版された村山直子さんの激励をいただく
8月3日（水） ～10日（水） 旭小学校図工室	絵本原稿製作 ⇒完成物を業者へカラーコピーに出す
8月22日（水） ～23日（木） 旭小学校図工室	製本作業
8月29日（水） サンメッセ鳥栖2階	絵本のカバーかけ ⇒読み聞かせ

作業日程・場所等	作業内容
9月 5日（水） 市役所・市内各小学校	市立図書館とサンメッセ2階図書コーナー及び市内各小学校へ絵本寄贈
9月13日（木） あさひ幼稚園	絵本の読み聞かせ
9月20日（木） 市民活動センター	とっとちゃん発案者への絵本作り
11月16日（金） 市民活動センター	図書館・サンメッセへ好評に付き増刷
11月17日（土） ジョイフルタウン1F	NP0 見本市で絵本読み聞かせ披露

2. 絵本配布先

※1シリーズ(とっとちゃんの家族・とっとちゃんの誕生日・とっとちゃんの大冒険)

市立図書館・サンメッセ鳥栖2F 図書コーナー・市内各小学校他

※とっとちゃんの大冒険……市内各保育園・幼稚園

3. 反省点

- ・ 夏休み中に完成させるためにハードスケジュールだったこと
- ・ 製本の際、失敗のため何度となくコピーの追加依頼をしたので、余裕を持って依頼すべきだった。
- ・ カバーかけの際に、空気が間に入ったり、順番を間違えたりした。
- ・ もっとすき間なく色を塗れば、本格的な絵本ができたかもしれないと思う。
- ・ 本の中でふりがなをふっていないところがあった。
- ・ 集合時間に遅れたことがあった。

4. 夢プラン21事業について

- ・ やってみたい夢があっても個人の力では実現できないことがまだまだあると思います。とっても忙しい夏休みになったけど、最高の思い出になりました。今後も夢プラン21事業を続けてたくさんの子どもの夢がかないますように。ありがとうございました。
- ・ とても素敵な出会いができたことは本当に感謝していますし、もっとたくさんの方がこの事業に参加してほしいと思います。
それから、今回からてだすけ隊が見つからないとプレゼンにも参加できない夢があったようですが、夢がかなうかもしれない、でもダメでしたでは、あまりにもかわいそうです。大人たちの都合で進んでいくのが少し疑問でした。
- ・ 子どもの夢をかなえる手だすけをしてくれるなんてとてもいい企画だと思うので、これからもずっと続けてほしいです。

夢プラン21「いかだを作って川を下ってみたい」事業結果概要

製作期間：平成19年7月21日～平成19年9月8日
 日時：平成19年9月15日（土）
 場所：山下川
 夢実現隊：基里小学校5，3，2年生
 てだすけ隊：基里地区子どもの夢実現隊
 《協力・支援団体等》鳥栖・三養基地区消防事務組合、鳥栖市交通対策協議会、
 鳥 栖 市

1 活動概要

活動日	活動内容
7月21日（土）	第1回作製会議 ・作製するいかだについて ・今後の作業スケジュールについて等
7月28日（土）	いかだ作製作業（竹、材木による骨組みづくり）
8月4日（土）	いかだ作製作業（発泡スチロール加工）
8月16日（木）	第2回作製会議 ・実行日時、コースの決定 ・当日開催予定イベントについて ・告知用ポスターの作成
8月18日（土）	いかだ作成作業（ペットボトル取り付け）
8月22日（水）	いかだ作成作業（いかだ飾りつけ）
9月1日（土）	いかだ試運転（山下川）
9月8日（土）	いかだ作成作業（飾りつけ仕上げ） 開催当日の準備
9月15日（土）	「いかだを作って川下り」実施（山下川）

2 実施当日スケジュール

【9月15日（土）】

8：30 ミニチュアいかだコンテスト、いかだ試乗会受付開始
 9：00 開 始 式
 9：30 いかだ披露 川下り開始
 10：45 ミニチュアいかだコンテスト結果発表
 11：00 いかだ試乗会

3 反 省 点

- ・ 広報期間を考慮せずにスケジュールを決定したため、開催時期が2学期にまでずれ込んでしまった。
- ・ いかだ作製の作業を「てだすけ隊」の方に頼りすぎたのではないか。
- ・ 子どもたちに「いかだ」に対するしっかりしたイメージを持たせることができなかった。
- ・ 子どもたちで取り組むことのできる作業内容が限られており、もっと自分たちでできる作業メニューが必要であった。
- ・ 地域の力をもっと活用できればよかった。
- ・ 基里地区の歴史についてもっと勉強できるとよかった。

4 夢プラン21事業について

- ・ 子どもたちが問題意識を持ち、夢に向かって進むことは、大変有意義である。
- ・ おたすけ隊も大変だ・・・
- ・ 夢プランの趣旨、子どもたちの夢を実現する過程で、社会（地域）との関わりを深め、充実感や達成感を感じ、子どもたちの自主性、協調性が育っていくと思う。今回の機会を得て、目標は十分達成できたと思う。
これからも21世紀を担う子どもたちに体験活動をさせながら、豊かな心を育てていって欲しいと思います。ありがとうございました。

夢プラン21「巨大迷路をつくりたい」事業結果概要

製作期間：平成19年7月19日～平成19年10月12日
 完成披露：平成19年10月13日（土）
 場所：麓小学校近くの農園
 子ども夢実現隊：麓小学校6年生
 てだすけ隊：麓てだすけ隊（麓小学校PTA、OB、卒業生）
 《協力・支援団体等》社会福祉法人若楠（青葉園・若木園）、麓地区区長会、山浦町、
 麓小学校、麓小6年生保護者、夢プラン21実行委員、
 （株）サガンドリームス、（財）鳥栖市地域振興財団、鳥栖市

1. 製作工程等

製作日程・場所等	作業内容
7月19日（木）	巨大迷路予定地の石拾い
7月22日（日）	巨大迷路予定地周辺の草刈り
7月23日（月）麓小学校	第1回子ども夢実現隊実行委員会 全体的な内容等について協議
7月26日（火）麓小学校	第2回子ども夢実現隊実行委員会 役割決め、作業用具作り
8月1日（水）麓小学校	第3回子ども夢実現隊実行委員会 ゲート・迷路地図の図案決定
8月4日（土）	青葉園、子ども夢実現隊で、巨大迷路予定地の整地及び肥料まきを実施した。
8月9日（木）	青葉園指導者の助言を受けながら、巨大迷路用の「ひまわり」の種をまく。
8月9日～ 10月12日	子ども夢実現隊、てだすけ隊、青葉園による朝・夕の水まき、 雑草及び害虫駆除
8月17日（金）麓小学校	巨大迷路用仕切り板の図案検討
8月19日（日）麓小学校	巨大迷路用仕切り板の下地塗り
9月8日（土）	受付会場用畑の整地
9月11日（火）	受付会場用畑の石拾い
9月14日（金）	・受付会場用畑の草取り ・イベント景品用コスモスの種を育苗用ポットに植える。
9月28日（金）麓小学校	巨大迷路完成披露の日程決め
10月1日～10月5日 麓小学校	巨大迷路用仕切り板（36枚）に絵を書く 完成披露時のイベント内容協議
10月1日（月）麓小学校	子ども夢実現隊実行委員会、巨大迷路完成披露PR用チラシ 作成
10月6日（土）	巨大迷路用仕切り板等設置
10月10日（水）	巨大迷路製作（花刈り、入退場門・撮影用看板設置）
10月12日（金）	完成披露準備（イベント準備、会場作り）
10月13日（土）	巨大迷路完成披露
11月7日（水）麓小学校	ひまわりの実を刈取り、学校ベランダに干す
11月8日（木）麓小学校	ひまわりの種を炒り試食する
11月10日（土）	子どもサミットにおいて、巨大迷路製作の経過を新聞にまとめ 発表した。
11月22日（木） 麓小学校	「冬の麓つ子集会」において、受付会場等で使用した畑の草 を取り、れんげ草の種をまいた。
11月26日～ 麓小学校	ベランダに干しておいた、ひまわりの実から種を採取し、50 粒ずつ袋に詰める作業を開始した。

12月7日（金） 麓小学校	麓小ふれあい祭りにおいて、地域の方々へひまわりの種を配布した。
12月9日（日） 麓小学校	巨大迷路で使用した仕切り板を、青葉園の協力を得ながら、学校プール周辺及びバス停前に設置した。
12月21日（金） 鳥栖市役所	子ども夢実現隊代表が巨大迷路で使用した「ひまわりの種」を持参し、巨大迷路完成披露までの経過報告を鳥栖市長に行なった。
12月25日～1月11日 鳥栖市役所	子ども実現隊が作成した巨大迷路完成披露までの経過を記した壁新聞及び「ひまわりの種（1,000袋）」を鳥栖市役所市民ホールに展示した。（ひまわりの種は持ち帰り自由）
2月23日（土） ベストアメニティ スタジアム	3月20日に開催されるサガン鳥栖ホームゲーム第2戦の「鳥栖市民デー」イベントにおいて「巨大迷路をつくりたい」で咲いた「ひまわりの種」を配布させていただくために、鳥栖市、（株）サガンドリームス、（財）鳥栖市地域振興財団へ依頼した。
3月20日（木） ベストアメニティ スタジアム	サガン鳥栖ホームゲーム開始前に「子ども実現隊」、「てだすけ隊」等により、サッカー観戦者へ「ひまわりの種」を配布し、「子ども実現隊」代表21人がサガン鳥栖選手と入場した。

2. 巨大迷路完成披露

- 巨大迷路敷地総面積：約2,500㎡
- 巨大迷路面積：約1,200㎡
- ひまわり：約15,000本
- 来場者：約700人～800人

◎当日スケジュール

- 10:00 セレモニー開始
 - ・子ども夢実現隊、てだすけ隊、夢プラン21実行委員会、来賓挨拶
 - ・学校紹介（説明、面浮立披露）
 - ・巨大迷路注意事項
- 10:30 各種イベント開始
 - ・タイムレース、クイズスタンプラリー、いも虫大会、スケッチ大会、俳句コンテスト
 - ・完成披露までの経過写真展示
- 11:30 市長より激励のことば
- 16:00 終了

3. 感 想

- ・当初は、実現に向けいろいろ大変でしたが、子どもの夢が、実現でき大変よかった。開催日の子ども達の笑顔が、何よりの喜びとなりました。また、担任の先生をはじめいろんな方々の協力によって成功することができ、子ども達も幸せだったと思います。
- ・てだすけ隊、学校、地域と一緒に子ども夢を実現するために協力しあい、実現できたことが子どもにとっても大変いい経験になったと思いますし、私たちにとってもよき経験となりました。
- ・私が書いた夢が採用されて、びっくりしたけどとてもうれしかった。でも、夢が実現するまでこんなに大変だとは思わなかった。いも虫が大量に発生するし、毎日の水やりや夏の草取り、イベントの準備など、とても大変だった。「巨大迷路」を通して植物を育てる大切さがわかったし、みんなと協力したからこそ、こんなすごいことができたのだなと思った。一面黄色の畑を見た時は、「やってよかったな」と思った。迷路にたくさんのお客さんが来てくれたときはとてもうれしかった。
- ・本当にできるとは思っていなかったのでうれしかったです。卒業前にいい思い出ができたと思います。最初らへんは大変だったけど、迷路に来た人が楽しんでくれたのでうれしかったです。
- ・この夢を実現させて、夢を実現させるのは、こんなに大変なことなのかと実感しました。私たちがやりたかった、板に絵を書くことができて、とても楽しかったです。でも、草取り、水やり、サガン鳥栖で配る種詰め、とても大変できついこともありました。きついことを進んでやろうと思って、みんなよりがんばるようにしました。でも、実行委員も草取りや水やりに来なかった人がいたので、6年生全員で育てましたと言えないと思いました。イベントなどの準備はみんなで作ってくれて、当日は来てくれた人が楽しめる1日にできたと思いました。迷路づくりで大変だったことは、板作り、ひまわりの世話でした。板作りは、デザインからなかなか決まらなくて、時間がかかりました。麓の何を伝えたいかを考えながら決めました。私たちの班は、麓の自然と、麓の行事、盆おどりを絵に描きました。細かい部分は、ペンキで色を塗る時に苦労しました。ひまわりの世話では、水やり、草取り、いも虫取りを毎日朝と夕方してきました。水やりのときに、じょうろを2つ持つことは麓小の常識になっていました。他にもいも虫は、水の入ったペットボトルに入れたり、草取りのときには、1人1枚ずつビニール袋にいっぱい入れたり、工夫してひまわりの世話をしました。ひまわりも生き物だから、毎日世話しに行かなきゃいけないのに、毎日行かなかったから、だめだったなと思いました。ひまわりの世話では、青葉園の方々にお世話になりました。ひまわりが大きく育っていない所に青葉園で育てていたひまわりを植えたり、草取りを手伝ってくれたり、青葉園の方たちの協力がなかったら、ひまわりは、こんなに育っていなかったと思います。この巨大迷路は、天気にも恵まれて無事に完成できました。これは、小学校の1番の思い出になりました。
- ・ひまわりの育て方や種の植え方、その他たくさん教えてくださったので、ひまわりがきれいに咲いたと思ったし、うれしかったです。地域の方々との関わり大切さがわかったと思いました。迷路の道を決めるのは大変だったけど、友達と協力してやりとげられたのでうれしかったです。当日まで、迷路をつくったり、クイズを考えたり、いすを置いたり、準備で大変だったけど、たくさんの人に来てもらって、楽しんでもらったのでよかったです。かざり板づくりでは、どんな絵を描くか迷ったけど、最後まで絵を描くことが出来たし、たくさんの人に見てもらえたのでよかったです。当日も、たくさんの方々に駐車場の整理をやっていただいたり、おにぎりを作っていただいたり、朝早くからお手伝いしていただいたので、巨大迷路ができたと思います。たんぼを耕してくださったたり、草むしりをしてくださったので、本当に助かったと思います。当日は緊張したけど、巨大迷路ができてうれしかったし、いい思い出になりました。

4. 反省点

- ・担任の先生の負担が大きかったような気がしました。
- ・打ち合わせの時間がなかなかとれなかった。
- ・思ったより花が咲くのが早く、準備が間に合わなくて、ひまわり迷路当日に、一番きれいな時の花をお客さんに見せられなかったのが残念だった。
- ・最初らへんがそんなに仕事あまりできていなかったこと。
- ・当日のイベントでスタンプの置く位置をまちがえた。草取り、水やりの呼びかけがあまりなかった。実行委員会が進んで仕事をしなくちゃいけないのに、進んで仕事をしない実行委員がいた。当日、スタンプラリーの受付などを決めて、バタバタしていた。本番の前日の準備のときに、進んで仕事を見つけない人がいた。
- ・スタンプラリーでスタンプを置く場所を間違えたので、くやしかったです。たくさんの方に来ていただいてうれしかったけど、大変だったのももう少し考えてやったほうがよかったかなと思いました。自分たちでしないといけないことも手がまわらなくて、地域の方々に手伝ってもらったので、もっと一生懸命動くべきだったと思います。大慌てで、一緒にやっている人に手がまわなくて、どうなっているのかわからなかったのも、もっとがんばるべきだったと思います。

5. 夢プラン21事業について

- ・夢プランがなかったら、体験できなかったことだから、夢プラン21をずっと続けてほしい。
- ・実行する時に、地域の人との関わりを大切にしてほしいので、自分たちで出来上がってしまう夢より、たくさんの人と協力してできる夢プラン21を選んでほしいと思います。

夢プラン2 1 「川に魚を放流して自然を豊かにしたい」事業結果概要

魚の飼育期間：平成19年10月26日～平成20年3月11日

魚の放流：平成20年3月11日（火）

むかいばる

場所：麓小学校近くの向原川

子ども夢実現隊：麓小学校6年生

てだすけ隊：麓の夢かなえ隊（麓小学校PTA、PTA経験者）

やまめ

《協力・支援団体等》筑紫会、山女魚会、NPO法人市村自然塾九州、
鳥栖ほたるの会、麓小学校、夢プラン2 1 実行委員、鳥栖市

1. 製作工程等

製作日程・場所等	作業内容
8月4日（土）向原川	てだすけ隊により、向原川の草刈を行なった。
8月5日（日）大木川	子ども夢実現隊実行委員数名が、市環境対策課主催の「親子で川の生き物調査隊」へ参加し、水生生物調査を行なった。
8月9日（木） 向原川、麓小学校	子ども夢実現隊が、市環境対策課職員及びてだすけ隊による助言・指導を受けながら、水生生物の種類や川の汚れぐあいを調査し、グループごとに発表した。
8月20日（月）麓小学校	子ども夢実現隊実行委員で、放流する魚について協議した。
9月28日（金）麓小学校	第1回魚実行委員会 子ども夢実現隊が水生生物調査等実施した結果をもとに、筑紫会、山女魚会等の助言指導を受けながら、飼育及び放流する魚等に関する協議を行なった。
10月22日（月）	水槽に水を入れ、魚を飼育する準備をした。
10月26日～ 麓小学校	6年生教室で「かわむつ」、「あぶらめはや」、「かわえび」等の飼育開始。
1月25日（金）向原川	子ども夢実現隊で、向原川の清掃（ごみ拾い）を行なった。
2月14日（金）麓小学校	第2回魚実行委員会 魚の放流の日程等について協議した。
2月19日（火）麓小学校	第3回魚実行委員会 魚の放流の手順及び当日の活動について協議した。 また、当初事業名を「川の魚を放流して自然公園を増やしたい」としていたが、魚の放流だけでは自然公園を増やすことができないので、事業名を「川に魚を放流して自然を豊かにしたい」へ変更した。
2月25日～ 麓小学校	子ども夢実現隊実行委員を中心に、看板・ポスター・プレゼントの作成を開始した。
3月11日（火） 向原川、麓小学校	子ども夢実現隊による環境宣言を行なうとともに、筑紫会、山女魚会、てだすけ隊と一緒に魚を放流した。

2. 魚の放流等

○放流する魚等

「上流に放流した魚」

- ・はや、あぶらめはや、くちぼそ、黒めだか等（１００匹）
- ・かわむつ（６０匹）　・かわえび（６０匹）

「下流に放流した魚」

- ・ふ　な（６０匹）　・こ　い（１０匹）　・どじょう（１０匹）

◎当日スケジュール

１４：００　開　会　式

- １．始めの言葉
- ２．夢プラン２１実行委員会会長あいさつ
- ３．経過報告（これまでの活動報告）
- ４．環境宣言（子ども達が自然環境を守る誓いを述べる）
- ５．歌「広い世界へ」

１４：３０

- ６．魚の放流（グループ別に場所を決めて魚を放流する）
- ７．プレゼント渡し（来られた方やお手伝いの方へのプレゼント）
- ８．終わりの言葉

◎環境宣言文

「ぼくたち、私たちは、生き物が住みやすい環境を作るために、ゴミが落ちていたら、必ず拾います。だれも、ゴミを捨てないように呼びかけます。そして、自然豊かな麓をつくります。」……麓小学校６年１組

「草木や水を大切に、自然を豊かにして、いつまでも生き物が暮らしやすい環境を保ちます。」……麓小学校６年２組

3. 感 想

- ・環境に関心を持ち、魚の放流を通して、身近な自然を守っていかうという取り組みでしたが、まずこういった事業を子どもたちが自ら思い立って、行動できたことを嬉しく思いました。河川周辺の清掃活動に始まり、河川の生き物調査、また生態系に合う魚類の検討、飼育・放流までと、取り組み期間は長期に渡りましたが、てだすけ隊として放流まで終了できたことに安堵しています。
- ・６年生３名の発想により始まった夢プランでしたが、学校の協力も頂き、麓小学校６年生全員での取り組みとすることができました。向原川の清掃活動や草刈りで自然環境を守ることができました。また、市役所の協力で水質調査を行い、生態系を学ぶことができました。放流する魚等を飼育することで、命の大切さを知りました。私達が子供の時には、自然を相手に遊ぶことばかりでしたが、今は、テレビゲーム、パソコンの普及で自然とふれ合うことが少なくなりました。麓小学校６年生は、この夢プランで、教科書等にもない大切な事を学んで頂けたのではないかと思います。
- ・思っていたのより、すごくいい放流会になった。言葉もかまわずに言えて最高だった。魚が元気に自然に帰っていく姿を見ていると、感動と喜びでいっぱいになりました。「夢プラン２１」に応募して本当によかったです。
- ・魚の放流ができてとてもよかったです。これで少しは自然が豊かになったと思います。いろんな人の協力があって、この「夢」を実現することができました。僕は実行委員でしたが、こんなに大変だとは思いませんでした。水質調査、ごみ拾い、魚を育て

る、開会式の準備、いろんな事があったけど、最後に魚の放流を実際に行なうとき、「実行委員になってよかった」、「今までやってよかった」と思いました。とてもいい体験になりました。

- ・今まで、水そうを洗ったり、えさをやったりしてきました。学校に来た時は、とても小さかったけど、放流する時には、とても大きくなりました。そして、たくさんの方々が来て下さいました。水質調査など大変だったけど楽しかったです。小学校最後の思い出になりました。放流ができたのも、みなさんに支えてもらったからです。ありがとうございました。
- ・魚がペットボトルから川に帰っていくのを見ると、「ずっと生きてほしいなあー」と思って、魚が元気に泳いでいく姿を見ると、ほっとしました。小さい魚は元気に泳いでいたけれど、フナやコイなど大きな魚は、なかなか川に入っても動かずにはらばらしたけど、何秒かすると自由に泳ぎ回ってくれていたのも、とてもうれしかったです。この放流を通して、自然が豊かになってくれたらなと思います。

4. 反省点

- ・先生方に学校行事が忙しい中、中心となって進めていただきました。一方で保護者でも取り組みが十分伝わっていない様な感じもありましたので、もっと多くの保護者に取り組みを理解してもらい、気軽に協力できる方法を考えたら良かったかなと思います。
- ・ひまわり迷路との同時進行で、日程調整等が多少不十分であったことを反省します。また、放流時期を3月と決めていたので、放流する魚等収集が不安でしたが、筑紫会、ヤマメの会、市村自然塾、その他の方の協力で、大変スムーズに収集できました。
- ・魚の日記を毎日書いていたけど、冬休みを終えてから少しずつ書かなくなってしまったこと。
- ・少し準備がおくれて、当日、開会式のことを話し合う時、あまり提案できなかった。当日の後片付けがおくれた。
- ・放流する時や移動の時におしゃべりがとても多かったこと。混雑していて時間がかかったこと。酸素が足りなくて何匹も死んでいたこと。
- ・準備や看板作りにあまり積極的に参加しなかったことです。放流するとき、もっと参加しておけば、喜びがまた大きかったらと思うので、今度また、こういう放流などがあったら、もっと積極的に参加したいです。

5. 夢プラン21事業について

- ・このような子どもたちの素朴な希望を支援していただく機会をいただいて有難く思っています。学校の授業とはまたちょっと違った形で、地域や学校、PTAが協力して児童の健全育成に寄与できたことを嬉しく思います。
- ・実行委員会会議等大変でしたが、実施後の達成感と子供達の喜んでる顔を見ると実施してよかった……と思えました。
- ・今のままでいてほしいです。
- ・夢プラン21って、本当に良いなと思えました。魚の放流やひまわり迷路など、みんなに喜ばれるすばらしい夢が実現させてもらえるので、これからも続けていって欲しいです。

夢プラン21事業を終えて

今年度の「夢プラン21」では、次の4つの夢が実現されましたが、実施するにあたって、過去2回の内容を顧みて、事業の条件を大幅に変更し、事務局主導型から市民協働の観点をふまえ、「夢の受託団体即ち市民団体てだすけ隊」を募集し、「プレゼンテーション」を実施するスタイルに変更したことは、おおいに評価できるものと考えます。

- ① **【とっとちゃんの絵本シリーズ作り】** 旭小学校の皆さん達
特筆すべきは、シリーズとして作成されたことでしょう。
 - ・とっとちゃんの家族
 - ・とっとちゃんの誕生日
 - ・とっとちゃんの大冒険夏の暑さをものともせず、夢実現に7月からの行動を開始し、完成後は読み聞かせ・各団体への贈呈等々本当に頑張りました。
- ② **【いかだを作って川を下ってみたい】** 基里小学校の皆さん達
いかだ作りの為の「設計図」作りに、大変な苦勞をしたことは、勉強になったことでしょう。
完成後、大木川に浮かべ「夢をかなえた」みんなのいきいきした顔は、今でも忘れません。
また、橋本市長も乗船され、子ども達には最高の夢実現だったでしょう。
- ③ **【巨大迷路をつくりたい】** 麓小学校の皆さん達
これぞ「夢の実現への一致した努力の成果」と思います。
まず、計画立案に始まり、予定地の決定から種まき、育成、完成披露までの4ヶ月にわたる苦しかった作業は、「夢の実現への願い」そのものでした。
- ④ **【川に魚を放流して自然を豊かにしたい】** 麓小学校の皆さん達
川の水生生物調査を行い、地域の方々の助言・指導を受け、約4ヶ月にわたり魚を飼育され大変だったでしょう。
また、卒業式前に魚を放流し、麓小独自の「環境宣言」をされたことで、自然の大切さを学ぶとともに、将来、この子ども達の中から地球温暖化対策の一躍を担うような人物が出てくるのではないかと思います。

夢プランの事業は、今年で3年目を迎え、年毎に子ども達の「夢を持つ」気持ちの強さを、我々大人も見習わねばと痛感した次第です。

最近の子ども達は脆弱であると言われ、我々大人も、他人とかかわらなくても生活できる時代をお互い無力に生活しているのではないかと思います。そのような中、「夢プラン21の事業」は、市民協働の趣旨のもとに子ども達と大人たち協働の市民団体てだすけ隊が同時に結成され、一丸となって達成に向かったスタイルは、掛け替えのない夢実現への強力な推進力となったと思いますし、「夢の達成」時の子ども達、てだすけ隊、その他の支援者の顔は、一様に満足感に溢れたものでした。

また、「夢プラン21」に参加した子ども達は、この計画に参加協力いただいた全ての人々に対する感謝の気持ちを抱いたことと思います。

例えば、「巨大迷路をつくりたい」の麓小学校の皆さん達が、感謝の気持ちを行動で表した事は特筆に値します。それは、「冬の麓っ子集会」において、子ども達が、会場として使用した畑を除草し「れんげ草の種」を蒔いたお話です。「夢プラン21」に参加したのは、子ども達と一部の市民団体のてだすけ隊の人々ですが、畑を借用した方へのお礼及び直接かかわれなかった地域の大人の達にプレゼントしてくれた感激もありました。

行政としても、“市民生活の安全・安心等”事業は数多くあり、財政的にも大変とは思いますが、将来を担う子ども達への夢を叶える「夢プラン21」は、是非とも継続されますようお願い致します。

最後になりましたが、この事業にご協力いただきました多くの団体・自治体・企業・市民の皆様に対し、この場を借りましてお礼申し上げます。また、鳥栖市・事務局としてお世話頂きました市民協働推進課の方々には、大変なご苦勞をおかけしましたこと、心から感謝お礼申し上げます。

平成20年3月

夢プラン21実行委員会
会長 小石正明

資 料

「てだすけ隊」募集概要

本市では、次世代を担う子どもたちが地域の人々の支援を受けながら子どもたちの夢を実現するプロセスを通じて充実感や達成感を得ることによる、健やかな成長を支援するとともに、希薄化する世代間交流の活性化につなげるため、青少年健全育成事業「夢プラン21」を平成17年から実施しています。

3年目を迎え、更なる世代間交流や市民協働の推進を図る観点から、夢を実現していくプロセスにおいて夢を応募した子ども達と市民活動団体等の大人達「てだすけ隊」が協力して実施していくスタイルへと変更します。



てだすけ隊： 夢プラン21の主旨をふまえ、子ども達が主体的に夢の実現に取り組めるようその活動を支援する団体で、実質的な事業実施団体（事業内容：計画・準備・実現段階においてアドバイスや具体的な活動を行い、子どもたちと協力して夢実現を図る）

夢プラン21

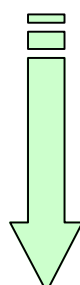
実行委員会： 子ども達から応募された夢の審査、及び実施団体「てだすけ隊」の選定を行い、本年度夢プラン21事業として実施する事業を決定し、実施団体に補助金を交付する。

子ども

夢実現隊： 夢をかなえることを共通の目標とし、実現するために協力して計画・準備・実現していく子ども達の総称。

■ 事業概要

● スケジュール

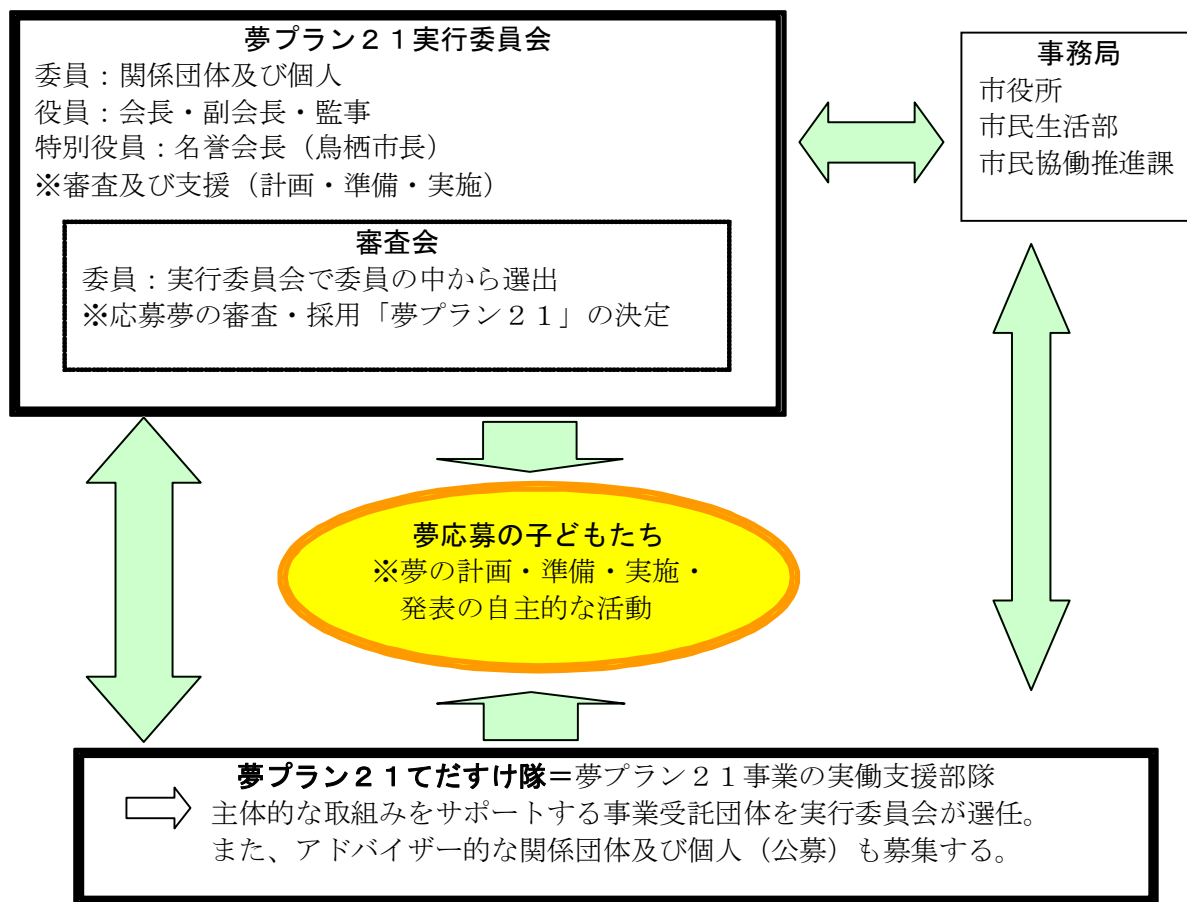
- 
- ・子ども達（小・中・高生）の実現したい夢を募集（5月14日締め切り：57件応募）
 - ・夢プラン21実行委員会による実施候補となる夢の選考（5件の夢候補を選出）
 - ・実施候補となる夢の公表及び実施団体「てだすけ隊」の募集（6月1日～6月29日）
 - ・てだすけ隊応募団体（大人）が、夢応募者（子供）からの聞き取りを基に作成した実施計画のプレゼンテーション（7月1日予定）
 - ・19年度事業決定、てだすけ隊への補助金交付
 - ・子ども夢実現隊＋てだすけ隊による事業実施
 - ・19年度夢プラン21事業報告
- ◎ 夢の選考及び実施事業の決定→夢プラン21実行委員会
◎ 事業主体→「子ども夢実現隊」＝夢を応募した子ども達
◎ 事業支援→「てだすけ隊」＝大人の応援隊（実質的な事業実施団体）

 **期 間：**平成19年度中

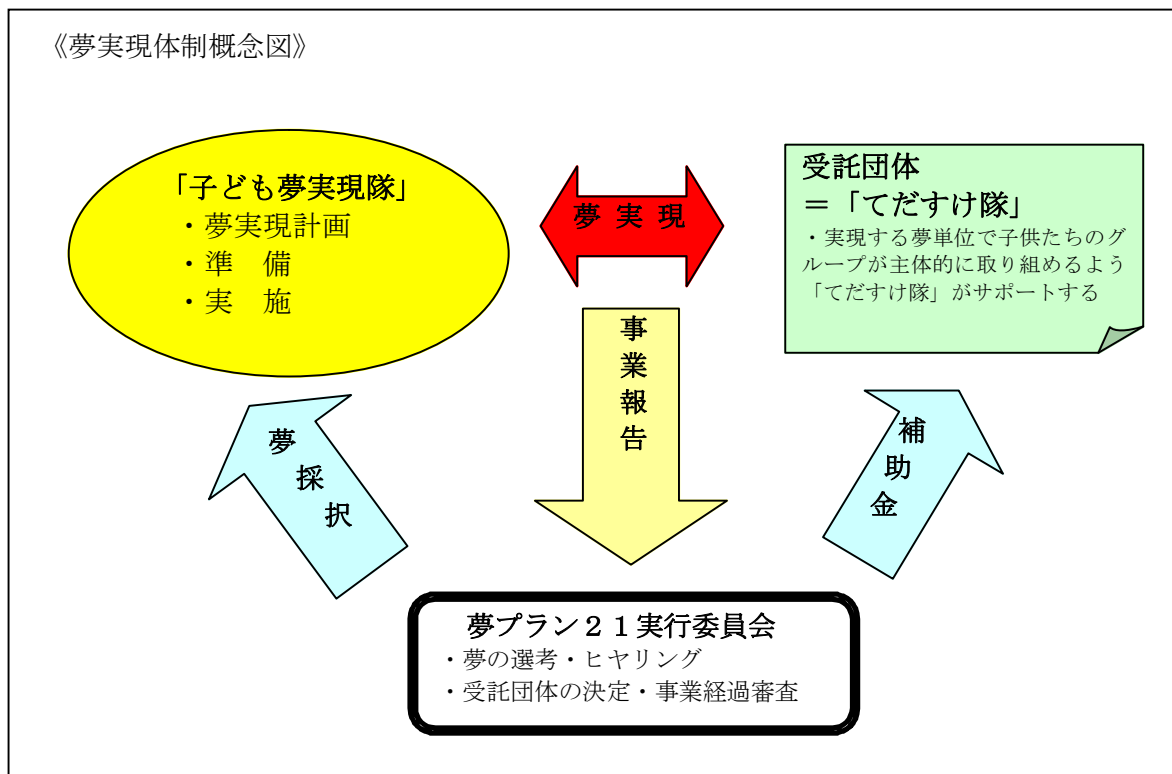
 **事 業 費：**100万円（総額）

※ただし、実行委員会事業費を含みます。

夢プラン21実行委員会概念図



《夢実現体制概念図》



子どもの夢をかなえる

夢プラン 2.1 実行委員会委員名簿

区 分	所 属 及 び 役 職	氏 名
関係団体	鳥栖市区長連合会会長	小 石 正 明
	鳥栖青年会議所理事長	松 石 健 児
	鳥栖市子どもクラブ連絡協議会会長	畠 野 治
	鳥栖地区小中学校ＰＴＡ連合会会長	大 石 文 明
	鳥栖市校長会（若葉小学校長）	渡 辺 哲 弘
	ＮＰＯ法人市村自然塾九州塾母	檜 崎 タ キ コ
	子育て支援総合コーディネーター	吉 田 眞 由 美

夢プラン21

実績報告書(写真集)

- ※ 「とっちゃん絵本のシリーズ作り」
- ※ 「いかだを作って川を下ってみたい」
- ※ 「巨大迷路をつくりたい」
- ※ 「川に魚を放流して自然を豊かにしたい」

夢プラン21実行委員会
平成20年3月

※ 「とっちゃん絵本シリーズ作り」



※ 「いかだを作って川を下ってみたい」



※ 「巨大迷路をつくりたい」



※ 「川に魚を放流して自然を豊かにしたい」



平成20年3月

